

## 生徒の皆さんへメッセージ（第3弾）

札幌日本大学中学校・高等学校

校長 浅利 剛之

札幌日本大学中学校及び高等学校の生徒の皆さん、いかがお過ごしですか。長い長い休校でしたが、その間オンライン授業へのご協力ありがとうございました。生徒の皆さんも毎日よく頑張っていて取り組んだと思います。生徒も先生も素晴らしかった。休校中でも前を向いて頑張れる皆さんのことを誇りに思います。

さてようやく休校要請が解除され、先日お知らせした通り6月1日（月）から徐々に学校を再開いたします。休校中は皆さんのご協力により、全校体制の双方向オンライン授業を一早く確立でき、つながっている安心感の下、授業を展開できたと考えています。一方、登校して一緒に学ぶことがやはり本校の本来の姿でありますので、今後は登校での教育活動を第一に探っていきたいと考えています。ズームでの全クラスのSHRに順番にお邪魔して激励をさせてもらいましたが、どのクラスでも「学校は楽しいから、またみんな一緒に学校生活送ろう」と話し、皆さんからも「早く学校に行きたい」という多くの声がありました。ごく当たり前の激励でしたが、長い休校で登校するのが面倒になっているのではないかと心配してのことです。今回は学校も先生もそして生徒の皆さんもオンライン授業を通して多くのことを学びました。これからの登校学習ではオンラインで学んだ手法を取り入れ、対面ならではの学びと合わせることにより、さらにより教育の質の向上を追求していきます。同時にまだまだ予断を許さない状況の下、再度やってくる可能性のある休校要請までにさらに進化したオンライン授業の準備も進めていきます。そしていつでもオンライン授業に切り替えられ、進度を維持し学力向上を図れる体制をつくっていきますので安心してください。

来週から皆さんに会ってまた一緒に学校生活を送れることを私も先生方も本当に楽しみにしています。本校では机に向かう学習の他に北海道唯一の重点校であるSSHや新しく始まるSGL・MLP等の探究教育、特色人材育成プログラムである総務省主催異能vationネットワーク、多彩な国際交流、部活動、行事、そして挑戦中の国際バカロレア（IB）など他にも盛りだくさんの活動があります。さらに今回ICTを最大限活用した教育が新たに加わることとなります。このような幅の広い多彩な学びができることが本校の醍醐味です。そして何よりも友達をつくり良き先生に出会い、喜びも苦しみも共に経験しながら成長していくのが学校生活であると思います。一緒に切磋琢磨することで困難を乗り越え人生を豊かにしていくと信じています。

**さあ行こう！ 「世界に貢献する人」目指して、再び一緒に歩みを進めよう。**